

中部地区 竜爪山系コース案内 1 日目

竜爪山系は、安倍川の東岸を北から十枚山、真富士山、竜爪山、賤機山へと南北に連なる竜爪層群に属し、主に火山性の地質からなる。山全体の植物群落としては、常緑広葉樹が多く、ヤブツバキ・ヒサカキ・アオキ・コアジサイ等の木本、ヤブレガサ・クサイチゴ等の草本、多くのシダ類など豊かな植生が見られる。

開会式・ペーパーテストを行った西奈小学校から 1.5km ほど北東に位置する雪平公園がスタート地点となる。舗装された農道を主に茶畑の間を折り返しながら、3km ほど登っていく。道端には、ヒサカキ・イヌビワ・シロダモを始め、ウラジロ・コシダなどのシダ類、アケビ、テイカカズラなどツル性の草木が見られる。大きく 3 回折り返した後、南に向かってしばらく農道を行くと、やや下って折り返しの手前を歩いた先に、梶原山公園の駐車場がある。まっすぐ上ると、公園の南端にでる。稜線を北へ折り返し、登山道となる。梶原山公園は、鎌倉幕府の武将梶原景時親子が追っ手に迫られて自害した地とされ石碑が建っているが、今では旧静岡市と旧清水市の両方を望む夜景スポットとして有名である。

ほぼ稜線に沿って 15 分ほど北上すると、かつて駿河湾を航行する船の目印となった大きな松の木があったことから名づけられた一本松公園(帆掛山304.2m)に着く。屋根のある休憩所とベンチが整備されており、「しあわせの鐘」を鳴らすハイカーも多い。

ここから茶畑の間を下り、高圧線鉄塔を連続して潜り抜けた後、稜線上の鞍部から樹林帯へ上る。スギ・ヒノキの間を、うねうねとアップダウンを繰り返す、最後に急な傾斜を下ると、農道の折り返し地点に駐車スペースがあり、奥に大きな石碑が建っているところが柏尾峠である。樹林帯では、ヤブツバキ・ヒサカキが散見でき、ヤブレガサやハナミョウガなど日陰に特有の植物もみられる。また、駐車スペースのまわりには、テイカカズラが花をつけ、クリも植えられている。

石碑の前を、わかりにくい、左手に折り返して下る登山道もあるが、ここを降りず、南に伸びる林道を進む。途中行きに登った林道と合流し、西に下山していくと、竜爪街道に出る。竜爪街道に出たら右折し、1.3km ほど行くと、左に下る舗装路がついており、長尾川を渡ることができる。長尾橋を渡ったら、ほぼまっすぐに民家の軒下の細い道を上ると、県道に出る。右折し、数百メートル歩くと、静岡市立北沼上小学校が見える。校門へと登ったところがゴールとなる。